



追加型投信／海外／債券

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

<円コース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)、<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)

決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日:2020年1月20日

「三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」は、10の通貨コースとマネーボールファンドの計11本のファンドから構成される投資信託です。本資料では、これらを総称して「当ファンド」ということがあります。また当ファンドの10の通貨コースの内、本資料の対象である<円コース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)、<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)の6つを総称して「各通貨コース」ということがあります。

※ 本資料は、ピムコジャパン・リミテッドのコメントをもとに三菱UFJ国際投信が作成しています。

平素より「三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。2020年1月20日に決算を迎えた当ファンド(マネーボールファンドを除く)の内、<円コース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)、<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)について、当期の分配金を以下の通りといたしましたことをご報告申し上げます。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2020年1月20日)

各通貨コース (毎月分配型)	決算期	分配金(1万口当たり、税引前)		設定来分配金 累計	基準価額 (1万口当たり、分配落ち後)
		今期	前期比		
円コース	第127期	25円	-20円	7,590円	7,543円
ユーロコース	第127期	30円	-20円	6,450円	8,439円
豪ドルコース	第127期	15円	-15円	16,245円	3,500円
ブラジルリアルコース	第127期	10円	-5円	15,080円	2,292円
南アフリカランドコース	第127期	30円	-10円	12,090円	4,404円
資源国バスケット通貨コース	第106期	30円	-20円	8,070円	5,288円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

当期の分配金について

各通貨コースは米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とし、高い利子収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行っております。各通貨コースは新興国債券の利子収入等が基準価額にプラスに寄与した一方で、お支払いした分配金等が基準価額の下落要因となり、各通貨コースの基準価額は2020年1月20日現在の状況は上記表、また設定来の推移については、P5のグラフの通りとなっております。

このような状況のなか、各通貨コースは、それぞれ基準価額水準や市況動向に加えて下表の点を勘案し、分配金の水準を下げるにより、信託財産の成長を図りながら収益分配を行うことが投資家の皆さまの中長期的な利益につながると考え、上記表のとおり各通貨コースの分配金を引き下げることといたしました。

各通貨コース	分配金見直しにあたり勘案したポイント
円コース	1万口当たりの利息収入が減少していること
ユーロコース	1万口当たりの利息収入が減少していること
豪ドルコース	分配原資が減少傾向にあること
ブラジルリアルコース	1万口当たりの利息収入および分配原資が減少傾向にあること
南アフリカランドコース	基準価額に対する分配金の割合が高い状態が続いていること
資源国バスケット通貨コース	1万口当たりの利息収入および分配原資が減少傾向にあること

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

<円コース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)、
<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)

2019年初からの新興国債券の市場環境および 分配金を引き下げた各通貨コースの運用状況について

【新興国債券の市場環境】

2019年の米ドル建て新興国債券(以下、新興国債券)市況は、米連邦準備制度理事会(FRB)が金融緩和の方針に転換したこと等により、ベースとなる米国金利が低下したことや、米中通商協議の進展が見られたこと等を受けてスプレッド(米国債との利回り格差)が縮小したこと等を背景に、上昇しました。

一方、新興国債券市況の利回りは、上記要因を背景に、大幅に低下しました。

【分配金を引き下げた各通貨コースの運用状況】

<円コース>米ドル売り円買いの為替ヘッジによるコストがマイナスとなったものの、新興国債券市況が上昇したこと等がプラスとなり、基準価額(分配金再投資)は上昇しました。

<ユーロコース>ユーロは、英国の欧州連合(EU)離脱等の不透明感の高まり等により、円に対して下落しました。

円高ユーロ安の進行や、米ドル売りユーロ買いの為替取引によるコストがマイナスとなったものの、新興国債券市況が上昇したこと等がプラスとなり、基準価額(分配金再投資)は上昇しました。

<豪ドルコース>豪ドルは、豪州準備銀行(RBA)が政策金利を引き下げたこと等により、円に対して下落しました。

円高豪ドル安の進行や、米ドル売り豪ドル買いの為替取引によるコスト等がマイナスとなったものの、新興国債券市況が上昇したこと等がプラスとなり、基準価額(分配金再投資)は上昇しました。

<ブラジルリアルコース>ブラジルリアルは、政策金利が過去最低となったこと等を背景に、円に対して下落しました。
円高ブラジルリアル安の進行等がマイナスとなったものの、新興国債券市況が上昇したことや、米ドル売りブラジルリアル買いの為替取引によるプレミアムの獲得等がプラスとなり、基準価額(分配金再投資)は上昇しました。

<南アフリカランドコース>南アフリカランドは、円に対して横ばいとなりました。

新興国債券市況が上昇したことや、米ドル売り南アフリカランド買いの為替取引によるプレミアムの獲得等がプラスとなり、基準価額(分配金再投資)は上昇しました。

<資源国バスケット通貨コース>資源国バスケット通貨を構成する豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドは、南アフリカランドは対円で横ばいでしたが、豪ドル、ブラジルリアルは対円で下落し、資源国バスケット通貨全体で見ると下落となりました。

資源国バスケット通貨に対する円高の進行等がマイナスとなったものの、新興国債券市況が上昇したことや、豪ドルを除く米ドル売り対象通貨買いの為替取引によるプレミアムの獲得等がプラスとなり、基準価額(分配金再投資)は上昇しました。

(ピムコジャパン・リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成)(2020年1月10日現在)

2019年初来の米ドル建て新興国債券市況

新興国債券市況(米ドルベース)

(期間:2018年12月31日~2020年1月10日)



新興国債券・利回り

(期間:2018年12月31日~2020年1月10日)



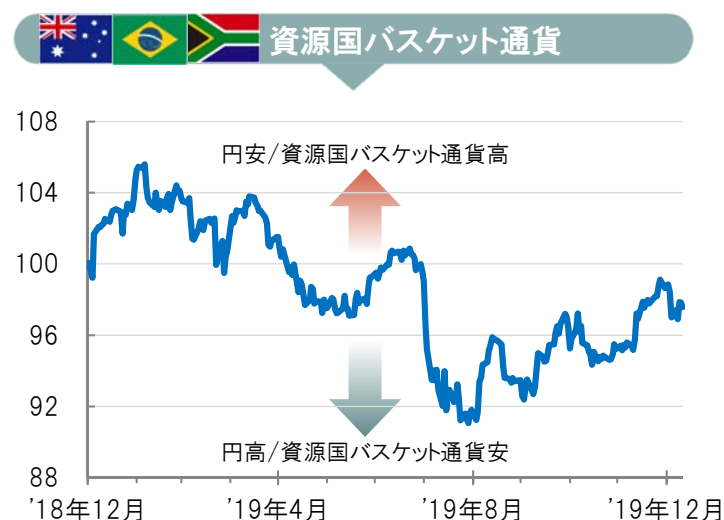
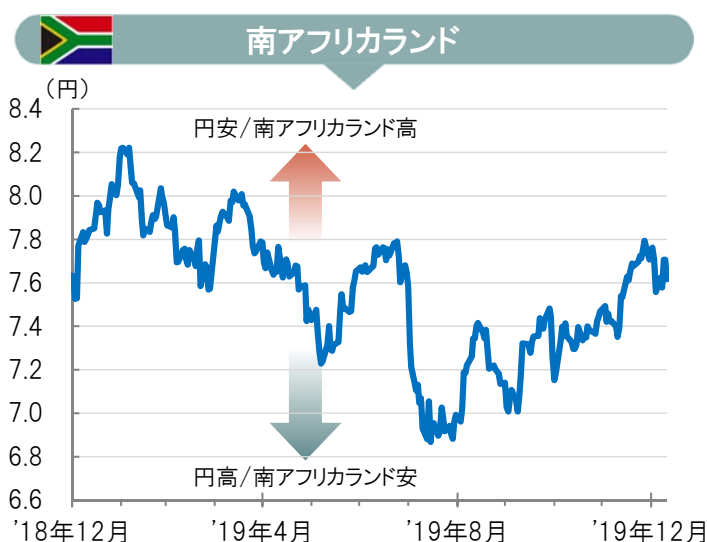
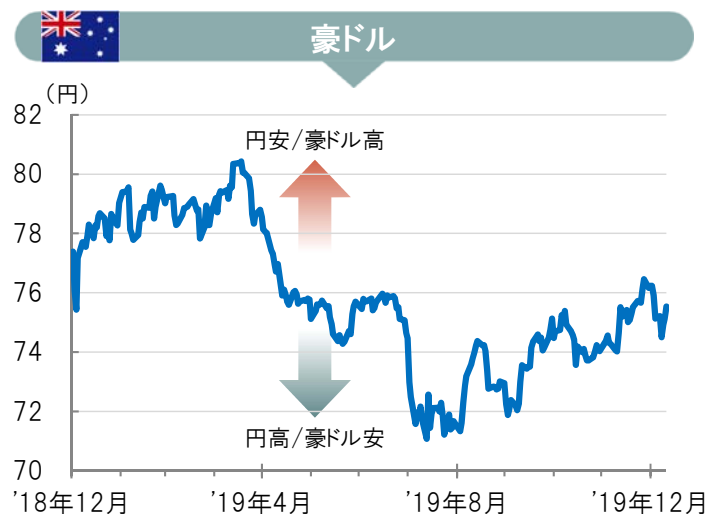
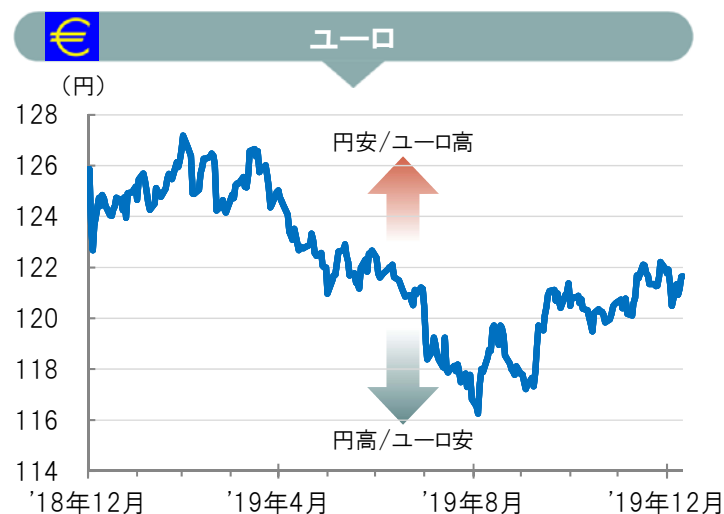
(新興国債券=JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド)

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

<円コース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、<ブラジルレアルコース>(毎月分配型)、
<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)

分配金を引き下げた各通貨コースの為替市況 (期間:2018年12月31日~2020年1月10日、対円)



※ 資源国バスケット通貨は豪ドル、ブラジル・レアル、南アフリカ・ランドの各通貨に3分の1ずつ配分し、2018年12月31日を100として計算しています。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

<円コース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)、
<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)

今後の市場見通しおよび運用方針について

【市場見通し】

世界経済は今後数四半期は脆弱な低成長期が続くものの、さらなる金融緩和を受けて2020年中に穏やかな回復に転じると予想しています。ただし、米中間の貿易摩擦をはじめとする政治的不確実性の高まりなどにより、景気が上下双方に大きく変動する可能性もあります。

新興国諸国経済は、インフレ圧力の落ち着きやバランスシートの健全化等に支えられ、ファンダメンタルズの改善が進んでいること等を背景に、堅調な成長を見込んでおります。また、FRBが緩和的な政策スタンスに転換し、米国金利や米ドルの上昇圧力が緩和したこと等もエマージング諸国のファンダメンタルズを下支えすると考えています。一方、個別国の政策面でのリスクには、引き続き注意が必要と考えています。

【運用方針】

新興国への投資に関しては、各国の通商政策などが及ぼす影響を見極め、投資国を選別することが重要と考えています。具体的には、ウクライナについて、2019年5月に就任したゼレンスキー大統領の政策に期待が高まっていることなどから積極姿勢とする方針です。また、経常赤字が縮小していることに加えて、外貨準備残高の増加基調が続いているドミニカ共和国についても、積極姿勢とする方針です。

一方、中国やフィリピン、マレーシアなどのアジア諸国については、相対的な割高感や米中貿易摩擦による中国経済への影響が懸念されることなどから消極姿勢とする方針です。

なお、各通貨コースで実質的な外貨建て資産に対して、米ドル売り、各コースの対象通貨買いの為替取引を行います。

(ピムコジャパン・リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成)(2020年1月10日現在)

■市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

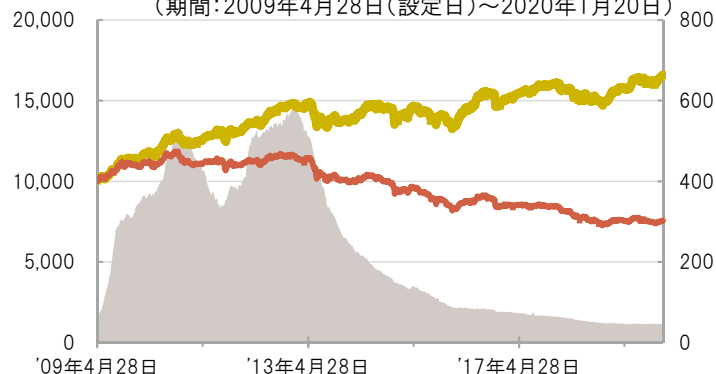
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

<円コース>(毎月分配型)、<ユーロコース>(毎月分配型)、<豪ドルコース>(毎月分配型)、<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)、
<南アフリカランドコース>(毎月分配型)、<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)

各通貨コースの設定来*の基準価額

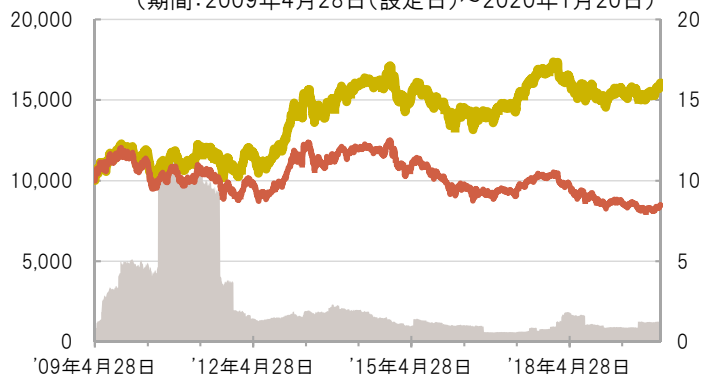
<円コース>(毎月分配型)

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年1月20日)



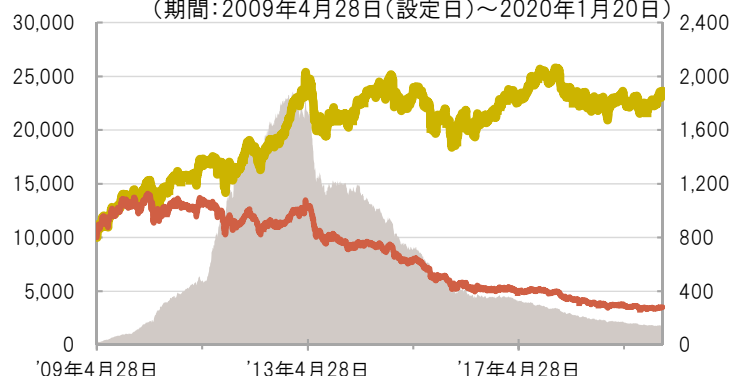
<ユーロコース>(毎月分配型)

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年1月20日)



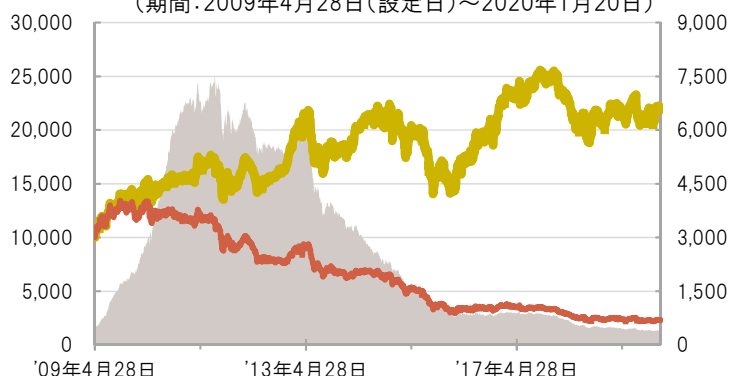
<豪ドルコース>(毎月分配型)

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年1月20日)



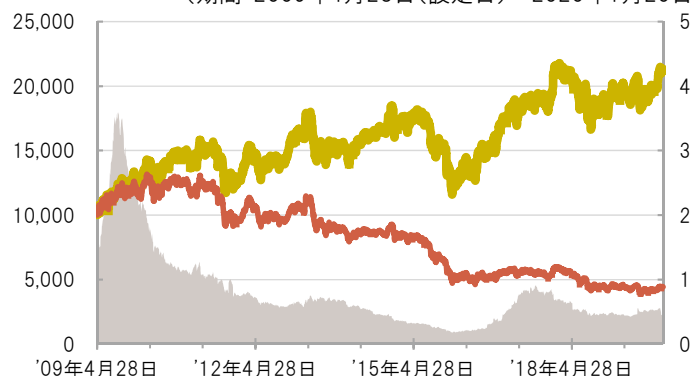
<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年1月20日)



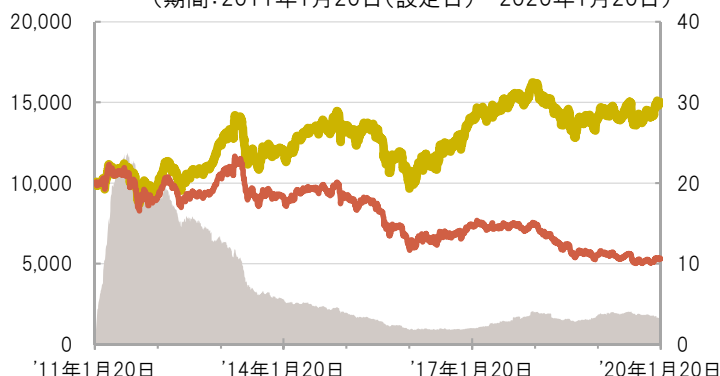
<南アフリカランドコース>(毎月分配型)

(期間:2009年4月28日(設定日)~2020年1月20日)



<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)

(期間:2011年1月20日(設定日)~2020年1月20日)



【グラフの凡例】

- 純資産総額(億円)【右軸】
- 基準価額(分配金再投資)(円)【左軸】
- 基準価額(円)【左軸】

- ・ 基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・ 信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- * 各通貨コースの設定日は2009年4月28日です。
- * <資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)のみ設定日は2011年1月20日です。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

【本資料で使用する指数について】

新興国債券:JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の債券発行残高に応じて構成比率を調整した指数です。同指数の情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J.P.モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。同指数は使用許諾を得て使用しています。J.P.モルガンによる書面による事前の承諾なく同指数を複製、使用、頒布することは禁じられています。Copyright © 2018 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複製・転載を禁じます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

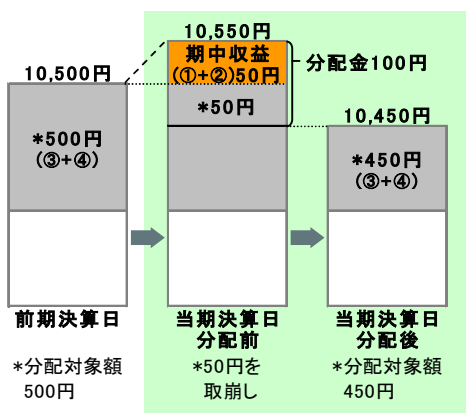


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

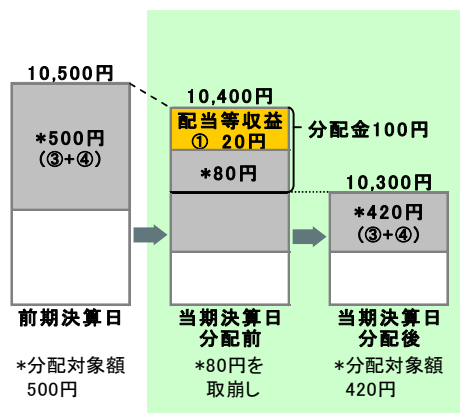
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



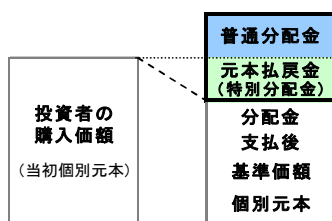
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

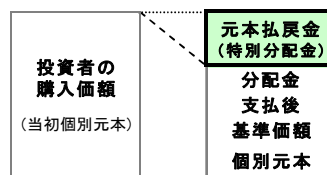
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分には非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

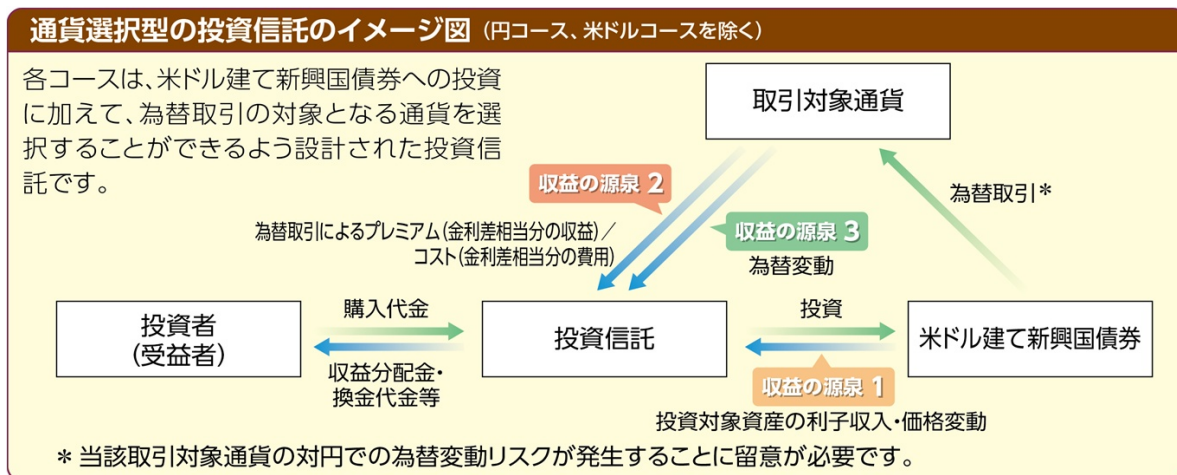
【金額を指定して購入する場合】(購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

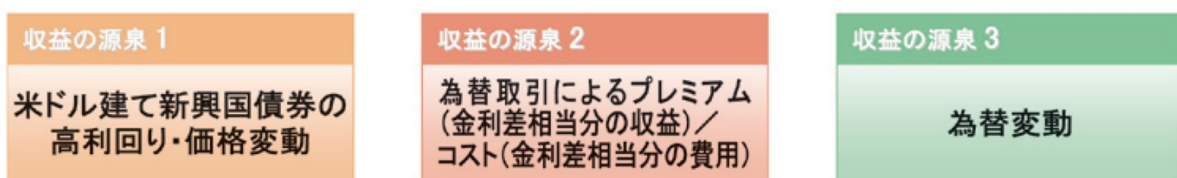
【口数を指定して購入する場合】

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

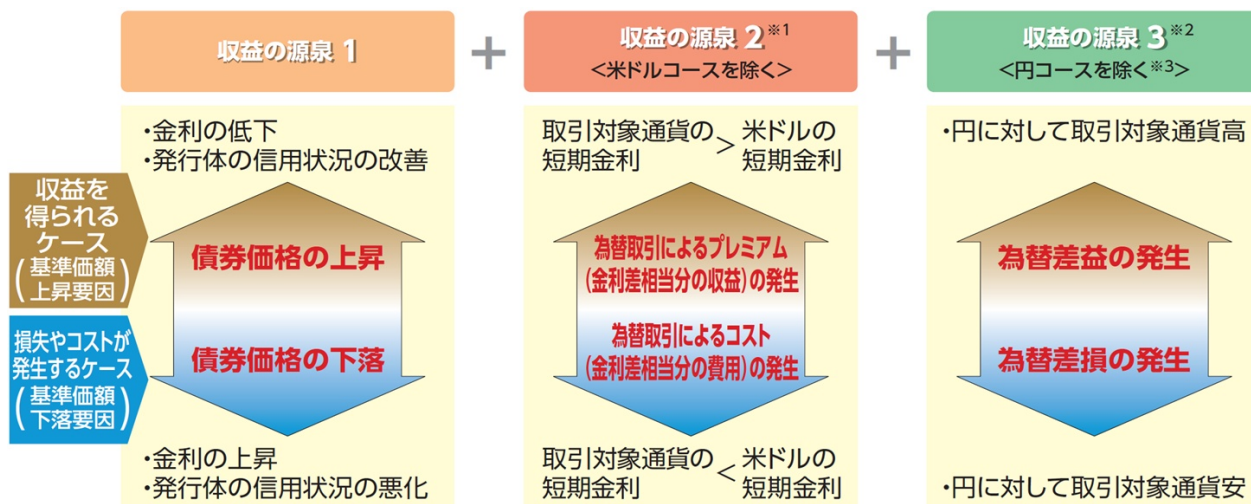


各コースの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



各コースにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



※1 円コースにおいては、対円での為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)が生じます。

※2 米ドルコースでは、米ドルが対円で上昇(円安)した場合は為替差益が、米ドルが対円で下落(円高)した場合は為替差損が発生します。

※3 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

・為替市場の状況によっては、為替ヘッジおよび為替取引によるプレミアム／コストが、金利差相当分からカイ離する場合があります。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

ファンドの目的・特色

「三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」は、以下の10本の通貨コースとマネーボールファンドの11本のファンドで構成される投資信託です。

＜円コース＞（毎月分配型）	／ ＜米ドルコース＞（毎月分配型）
＜ユーロコース＞（毎月分配型）	／ ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）
＜ブラジルリアルコース＞（毎月分配型）	／ ＜南アフリカランドコース＞（毎月分配型）
＜トルコリラコース＞（毎月分配型）	／ ＜中国元コース＞（毎月分配型）
＜インドネシアルピアコース＞（毎月分配型）	／ ＜資源国バスケット通貨コース＞（毎月分配型）
＜マネーボールファンド＞	

「10本の通貨コース」について

■ファンドの目的

各コースは、米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とし、高い利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。

■ファンドの特色

特色1 各コースは、主として米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とします。

・主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興経済国の国債や政府機関債等を実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

特色2 各コースが投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国債券に投資を行う一方で、それぞれ以下の為替対応を行います。

*円コース（毎月分配型）：原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

⇒「為替ヘッジによるプレミアム（金利差相当分の収益）またはコスト（金利差相当分の費用）」が生じます。

*米ドルコース（毎月分配型）：原則として対円での為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。

⇒「為替差益または差損」が生じます。

*上記以外の各コース：対円での為替ヘッジを行わず、米ドル売り、各コースの対象通貨買いの為替取引を行うため、各コースの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

⇒「為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）またはコスト（金利差相当分の費用）」、「為替差益または差損」が生じます。

・為替取引とは、円コース、米ドルコース以外の各コースにおいて、為替予約取引等*を利用することにより、米ドル売り、各コースの対象通貨買いを行うことをいいます。為替取引を行うことにより、各コースの対象通貨ベースでの新興国債券への投資効果を追求します。

*為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF（ノン・デリバブル・フォワード）取引」*を利用する場合があります。

※NDF取引とは、将来の所定の期日に当該通貨の受け渡しを行わず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済のみ可能な為替先渡し取引（デリバティブ取引）です。NDF取引では、市場の期待値（需給）や規制の影響を大きく受けて価格が形成されます。そのため、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）は、理論上期待される短期金利差から大きく乖離する場合があります。

＜為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）について＞

・各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該コースでは「為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）」の獲得が期待できます。一方、各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該コースでは「為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）」が生じます。円コースにおいては、上記同様、対円での為替ヘッジによるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）が生じます。

*ただし、為替市場の状況によっては、為替ヘッジおよび為替取引によるプレミアム／コストが、金利差相当分から乖離する場合があります。

＜為替の変動＞

・各コースの基準価額は、為替相場が各コースの対象通貨に対して、円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

*資源国バスケット通貨コース（毎月分配型）においては、3通貨（豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド）への実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が3分の1程度ずつから乖離する場合があります。

特色3 各コースにおいて、投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

特色4 各コースは、原則として毎月20日に決算を行います。

・原則として、毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

ファンドの目的・特色

■ファンドの仕組み

・ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

＜投資対象ファンド＞

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド A - クラス J JPY(円) (円コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド A - クラス J USD(米ドル) (米ドルコースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド A - クラス J EUR(ユーロ) (ユーロコースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J AUD(豪ドル) (豪ドルコース、資源国バスケット通貨コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J BRL(ブラジルレアル) (ブラジルレアルコース、資源国バスケット通貨コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J ZAR(南アフリカランド) (南アフリカランドコース、資源国バスケット通貨コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J TRY(トルコリラ) (トルコリラコースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J CNY(中国元) (中国元コースが投資します。)

ピムコ ケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J IDR(インドネシアルピア) (インドネシアルピアコースが投資します。)

マネー・マーケット・マザーファンド

※販売会社によっては、取り扱わないコースがある場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

「マネープールファンド」について

■ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子等収益の確保をめざします。

■ファンドの特色

特色1 ファミリーファンド方式によりマネー・マーケット・マザーファンドを通じて、わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保をめざします。

特色2 年2回の決算時(4・10月の各20日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ファンドの仕組み

・運用は主にマネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の公社債等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

「スイッチング」について

・各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

・マネープールファンドの購入は、マネープールファンド以外の各ファンドからのスイッチングの場合に限定します。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

各ファンド(マネープールファンドを除く)

価格変動リスク 一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

■円コース

組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。対円で為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替ヘッジによるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

■米ドルコース

組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いませんので、対円で為替変動の影響を大きく受けます。

■ユーロコース ■豪ドルコース ■ブラジルリアルコース ■南アフリカランドコース ■トルコリラコース

■中国元コース ■インドネシアルピアコース

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円で為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

■資源国バスケット通貨コース

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替取引を行うため、当該バスケット通貨の対円で為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリー・リスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

投資リスク

マネープールファンド

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

各ファンド(マネープールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

マネープールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

・投資環境によっては、マイナス利回りの公社債や金融商品等での運用となることがあり、この場合、基準価額の下落要因となりますのでご注意ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※マネーボールファンドの購入は、マネーボールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限りです。 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ■各ファンド(マネーボールファンドを除く) ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	■各ファンド(マネーボールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、 重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉 鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購 入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 ■マネーボールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止するこ と、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	■円コース(毎月分配型)／米ドルコース(毎月分配型)／ユーロコース(毎月分配型)／豪ドルコース(毎月分配型)／ブラ ジルリアルコース(毎月分配型)／南アフリカランドコース(毎月分配型)／トルコリラコース(毎月分配型)／マネーボール ファンド 2024年4月19日まで(2009年4月28日設定) ■中国元コース(毎月分配型)／インドネシアルピアコース(毎月分配型) 2024年4月19日まで(2010年5月6日設定) ■資源国バスケット通貨コース(毎月分配型) 2024年4月19日まで(2011年1月20日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が 50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	■各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) ■マネーボールファンド 毎年4・10月の20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	■各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 ■マネーボールファンド 年2回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償 還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度) の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を ご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

追加型投信／海外／債券

手続・手数料等

■ファンドの費用

各ファンド（マネープールファンドを除く）

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.3%（税抜 3%）**（販売会社が定めます）
（購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。）

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬） 日々の純資産総額に対して、**年率1.672%（税抜 年率1.52%）**をかけた額
各ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用（信託報酬）はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用（信託報酬）は上記と同じです。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

マネープールファンド

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬） 毎月の最終営業日（委託会社の営業日をいいます。以下同じ。）の翌日から、翌月の最終営業日までにかかる運用管理費用（信託報酬）は、当該各月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に応じて、
日々の純資産総額に対して、**年率0.605%（税抜 年率0.55%）以内**をかけた額
くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社（ファンドの運用の指図等）

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

＜ホームページアドレス＞ <https://www.am.mufig.jp/>

＜お客さま専用フリーダイヤル＞ 0120-151034

（受付時間 営業日の9:00～17:00）

●受託会社（ファンドの財産の保管・管理等）

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社阿波銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○			
株式会社伊予銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○		○	
auカブコム証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社紀陽銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号	○			
ごうぎん証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○			
株式会社山陰合同銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第1号	○			
株式会社滋賀銀行(一部コースのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
四国アライアンス証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社十六銀行(一部コースのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
株式会社南都銀行(一部コースのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
株式会社百十四銀行(一部コースのみ取扱)(インターネット専用)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。